

2位に元砂 昇陽高入る

A-Uは早大・入部3位

自転車チャレンジャー
イクルロードレース
自転車の第34回チャ
レンジャーイクルロード
レース大会は5日、静
岡県の日本サイクルス
ポーツセンター5ヶサ

ーキットで行われ、A
ーJ(91年以降生まれ
の男子)の部で泉勢の
山本元喜(奈良北高)
が1時間9分27秒65で
優勝。昨年に続き連覇
を達成した。

武器に集団から積極的
に飛び出してレースを
先導し8周40分の終盤
3周を1位で通過。ゴ
ール前のスプリント勝
負でも他選手の追従を
許さず独走状態を守り
抜いた。



山本 元喜



元砂 勇吉



入部 正太郎

出場203人中完走
者74人の過酷なレース
で泉勢は約38秒差で元
砂勇吉(榛生昇陽高)
が2位に入るなど健
闘。このほかA-U
(90・87年生まれ)の男

子)の部で同校出身の
入部正太郎(早大)が
1時間8分3秒で3位
に入賞した。

【順位(優勝係元喜者の名)
▽A-J(91年以降生まれ
の男子) ①山本元喜(奈良
北) 1時間9分27秒65 元砂
勇吉(榛生昇陽) 1時間10分5
秒75 泉原大貴(同) 1時間10
分6秒10 大平将汰(奈良北
) 1時間10分8秒25 中井優亮
(榛生昇陽) 1時間10分84
秒88 谷崎樹(同) 1時間11分
47秒56 藤沢大輔(奈良北) 1
時間11分58秒23 70名参加大
▽A-U(90・87年生まれ
の男子) ①入部正太郎(早
大) 1時間8分3秒78

奈良北高・山本が連覇

A-Jの部

常にV狙い地力勝負

A-Jの部、連覇がかか
ったレースで山本は「昨年
と同じゴール直前のスプリ
ント勝負では、優勝できて
も進歩がない」。自ら積極
的に飛び出し、逃げ切る戦
いを運んだ。

有力選手はしばしば他の
選手のけん制(マーク)に
あい、無駄に体力を消耗さ
せられる。各選手が全力
で競い合う海外の大会と異
なり、出方をうかがわれて
こころ着状態になり「力ど方
の勝負ができず、不完全燃
焼」(元砂)に終わること
も。

負担の大きい戦術にも
「全力で走って追いつかれ
たら、その時に考えればい
い」(奈良北高・三好泰彰

活躍する奈良北高、榛生昇陽高

厳しい姿勢で好成績生む

監督と挑んだ結果の連覇。
重圧とマークを上回る成
長を示した。

最高の結果にも「最初の
アタックで決められなかっ
た」。厳しい採点で課題を
挙げたが、それも含めて
「有意義な大会だった」と
総括した。マークに苦しん
だ元砂も単独で山本を追い
越す。昨年の7位から飛
躍し意地を見せた。

駆け引きも立派な作戦の
ひとつだが、奈良北高、榛
生昇陽高は「常に優勝を狙
い、地力の勝負」とたわぶ
(榛生昇陽高・徳地末広監
督)。その姿勢が、厳しい
条件をもともしない両校
の活躍につながっている。

奈良新聞2009. 4. 8